静岡県広報

新春を迎えて。私の抱負。

不況に明け暮れた昭和五十一年。それだけに、新しい年にかける期待は大きいと言えましょう。それぞれの地域、それぞれの分野で、皆さまは、どんな年を迎えられたでしょうか。今日は、新年にあたって、三人の方にご登場ねがい、今年の抱負を語っていただきました。

新年のごあいさつ

静岡県知事 山本敬三郎

あけましておめでとうございます。

県民の皆様には、お揃いで、昭和五十二年の新春を迎えられたことと心からお慶びを申し上げます。

昨年のわが国経済は、高度成長時代に別れを告げ、低成長時代へと確実に移行してまいりました。景気の停滞する中にあって多くの県内産業は、不況の荒波にもまれ、極めて困難な情況で推移しました。秋頃から好況にあった輸出産業も世界経済の中だるみ現象の影響をうけて、不振におちいり、その深刻さを増しております。こうした経済情勢は、高度成長時代とは、様がわりの様相を呈しており、今日、明日を我慢すれば、自然に将来が開けるというような安易なものではないと考えられます。このような大きな転期に立っているわれわれは、この厳しい現実を認識し、自らの体質改善を図り、低成長時代に即応した経済的、社会的活動が必要であろうと存じます。県政もこのような厳しい時代にあっては、地方自治の基本的理念に立ちかえって、県の果たすべき役割と限界について慎重な配慮を加える必要があるものと考えます。

私は就任以来二年有余の間、県議会各位はもちろん、県民と知事と語る会、あるいは地方行政の直接の責任者である首長会議を通じ、県民の各階各層の生の声や、市町村長の皆さんとひざをまじえての懇談対話の中から県民の行政に対する期待の把握につとめてまいりました。また、その過程において住民ニーズにどのようにこたえるべきかその責任の重大さを痛感いたした次第であります。このため、県民の活力を高め生命、財産を守り、健康で文化的な生活環境の確保と県土の均衡ある発展を目ざす、新総合計画を柱に、県民の参加と協調を得て、明るい県政の推進に努力して参りたいと考えております。県民の皆さんにおかれましても、現下の情勢をご認識下さいまして、よりよい静岡県をつくるために、社会連帯の中で、一層の努力を払われることを切望いたします。県民の皆さん、一人一人の英知と努力によって培われたこの美しい静岡県を、さらに豊かに住み良い郷土に発展させ、二十一世紀の子孫に引きつぐことができますよう、皆さんのご協力をお願い申し上げて年頭のごあいさつといたします。

男手ひとつでどこまで収穫がふやせるか、チャレンジします。

磐田市 久野征四朗氏
（農業経営士 36歳）

ヨーロッパ六カ国をまわり、各国の農業経営を学んできた久野さんは、農業経営士として、新しい農業に取り組んでいます。

私は、農業を始めて十五年になります。はじめは農業をやる気はなかった、というより百姓はきらいだったんです。だから今までの百姓ではない新しい百姓、つまり企業的農業経営者になろう、と日頃から思っています。その第一歩として、まず、住まいと仕事場を完全に離しました。今までのように、自宅の庭で作業をしたりすると、生活の中に仕事が入り込んできて、自分の時間すら持てなくなります。そこで、もっと合理的な、若者にも魅力のある農業経営をする必要があるのではないか、と思っています。息子が将来、自分からすすんで親の跡をつぎたいと思うような農業にしておきたい、というのが私の夢です。私は、これからも農業一筋に打ち込みたいと思っています。農業は大地が相手です。そして、大地は生きものです。手をかけて可愛がってやれば、それだけこたえてくれる。こんなにやり甲斐のある仕事はありません。私は農業を始めてから、いくつかの目標をたて、それをひとつひとつ成しとげるように努力してきました。まず最初に立てた目標は、父から受けついだ土地を拡げることでした。当時二ヘクタールだった土地も、今では六ヘクタールにふえました。その次は、農地の集団化と作業のシステム化を目標としました。一貫作業で能率をあげるための機械の導入等、このシステム化に関しては、今後も、もっと研究していかなければならないことです。すなわち、経営規模に合わせた、合理的な機械の使い方など、今後の課題はたくさんあります。そこで、今年は新たに、五年間を目標に、男手ひとつで、機械化によってどこまで収穫をふやせるか、やってみようと計画しています。農業経営というのは、自分の力を百パーセントためすことのできる、本当にやり甲斐のある仕事です。一生、農業一筋にやっていきたい、という人がいたら、農業の楽しさを教えて、立派な後継者に育てたい。これは、日本の新しい農業を育てるのと同様、私の夢であり、また役目だと思っているのです。

主婦たちの声をどしどし県政にぶつけたい。

県政モニターとして、静岡県政を県民の側から見つめている門西さんは、又、富士宮市で「内職相談員」としても活躍しています。

「内職相談員」をしていると、実際に県内の主婦たちがどういう状況に置かれているか、ということがよくわかります。相談にみえる方も、以前は、毎日の生活の足しに、というような方が多かったのですが、最近ではむしろレジャーの費用を作るためとか、子供も手がかからなくなったので、といった軽い気持で来られる方が多くなりました。こういう方はほとんど、簡単な仕事、技術がなくてもできる仕事を、というふうに言われるんですが、そういう仕事はなかなかありません。私も、いままでは、求人先の開拓まで手がまわらなかったのですが、今年は暇をみて、みなさんによろこんでいただける求人先を自分でも見つけていきたいと思っています。そして、内職なら相談員を通じてやった方が有利だ、といった方向へ持っていければ最高なんですが。それと、相談員をしているお蔭というのでしょうか、たくさんの主婦と接する機会が多く、生の声をきくことができますので、そこで得たこと、知ったことを、県政モニターのほうにもどんどん生かしていくつもりです。私も、県政モニターをやってみて、県政への関心の度合いが違ってきたし、県のいろいろな施策を、今までよりずっと真剣に見つめるようになりました。やはり、県民として、みんなもっと関心を持たなくてはいけないと思います。去年は、私自身が聞いてみたいことをモニター通信に書く程度だったんですが、今年はまわりの人の意見をできるだけたくさん聞いて、積極的な提案というカタチにしていきたいと思っています。どんな小さな声でも、実際に県政にたずさわっている人にぶつけていくことのつみかさねが、よりよい県、住みやすい静岡県にする一番の近道だと思いますから。

富士宮市 門西勝子さん
（主婦 36歳）

社会に貢献できる輸送体制を考える年にしたい。

浜松市 鈴木啓一氏
（運送会社経営 33歳）

鈴木さんは、企業と提携した輸送を行うという、ユニークなシステムの運送会社を経営しています。

我が社は、日用品雑貨の問屋から小売店へ、食料品の問屋・製造業者から小売店へ、という具合に会社と提携して、そこの輸送部門を一手に引受けている運送会社ですが、トラックなどの設備や運転手の人件費を考えると、これからは、こういう分業化がもっとすすんでもいいと思います。将来、倉庫管理も含めた流通経路をすべて管理するのが夢です。この夢を実現していく上で、今年、私が特に力を入れたいのは①社会への貢献、②従業員の生活向上、③お客様へのサービス強化、の三本柱。この三つは、今までも気持の上ではずっと意識してきたことですが、言うはやすく行うは難しだったのです。そこで、今年こそは、と従業員で、それぞれに委員会を設けて、今、具体案を考えさせているところです。どんなことでも、現場からあがってきたみんなの声というのは貴重だし、きっと何かいい案がでてくると期待しています。とにかく、今まで企業というのは、目の前の利益を追いかけて突走るだけでも成立ってきましたが、もうそれではすまない時代になっているのではないでしょうか。この低成長下時代は、確かに経営者にとって厳しい試練の時ですが、同時に、経営するものとしての責任や在り方を考える、ひとつのチャンスという気がします。地域や社会の向上発展が企業の発展にもつながる——つまり、今後は、地域社会と共に歩まなければならないと思います。私も運送業界に入って十五年。責任ある年ですし、責任のとれる立場にもあります。おおげさなようですが、一生を、そういった理想にかける意気込みで、今年を新たなるスタートの年として、がんばります。

お知らせ

県庁の所在地は〒420 静岡市追手町9番6号

看護学生を募集

学校名、所在地、電話、学科の順【厚生保育専門学校】静岡市与一右衛門新田、0542⑦7531 保健、助産、看護1、看護2、保育、歯科衛生の6学科【東部看護専門学校】駿東郡清水町長沢、0559⑦2135 看護1、看護2の2学科 ◎両校とも ■申込期間＝1月10日～21日 ■試験日＝2月3日、4日

後継者養成機関の学生を募集

【高等農業学園】■課程＝本科、研究科■申込期間＝2月10日～25日■試験日＝3月10日【漁業高等学園】■課程＝航海科、機関科■申込期間＝2月14日～26日■試験日＝3月10日【農業短期大学校】■学科＝総合農業、園芸、茶業、柑橘、畜産■申込期間＝1月6日～21日■試験日＝〈総合農業学科〉2月2日～3日〈その他の学科〉2月4日【林業短期大学校】■学科＝林業■申込期間＝1月6日～21日■試験日＝2月2日◎4校とも■問合せ先＝各学校又は県後継者養成課（0542㉑2828）

社宅・家建設資金融資制度説明会を開催

■内容＝国、県の融資制度の説明■日程＝（いずれも1月）20日・浜松合同庁舎、24日・中小企業総合指導センター、27日・東部総合庁舎、28日・伊東市役所■時間＝午後1時30分から■問合せ先＝県住宅企画課（0542㉑3085）

県営住宅の入居者を募集

団地名、所在地、募集戸数、家賃の順 ◎自由ヶ丘＝富士市五貫島、70戸、1万9千円～2万1千円 ◎袋井＝袋井市青木町、100戸、2万円 ◎磐田＝磐田市東新町、50戸、2万円～2万2千円 ◎子安＝浜松市子安、220戸、1万8千円～2万8千円 ■申込期間＝〈自由ヶ丘〉随時 〈その他の団地〉1月10日～21日 ■申込先・問合せ先＝〈自由ヶ丘〉富士土木事務所（0545(61)4080 〈その他の団地〉県住宅供給公社西部支所（0534(53)0025）

住宅地を分譲

【個人住宅地】団地名、区画数、平均面積、平均価格の順 ■富士見台（富士市）＝59，284㎡、610万円 ■袋井第2＝51，235㎡、413万円 ■つつじ平（大井川町）＝68，195㎡，316万円 ◎3団地とも■申込期間＝1月25日～27日 ■問合せ先＝県企業局宅地開発課（0542㉑2171）【産業労働者住宅地】■団地名＝富士見台 ■申込資格＝常時5人以上の従業員を使用する事業主で、2年以内に従業員住宅を建てる方 ■区画数＝8 ■面積＝5,220～2,332㎡ ■価格＝1億1,381万円～5,084万円 ■申込期間＝1月25日～2月19日 ■申込先・問合せ先＝県企業局宅地開発課

教育モニターを募集

■応募資格＝20歳以上で、教育に関心があり、モニターの仕事に熱意のある方 ■募集人員＝8人 ■モニターの期間＝4月1日から2年 ■申込期間＝1月20日～2月10日 ■申込先・問合せ先＝県教委企画総務課（0542㉑3114）

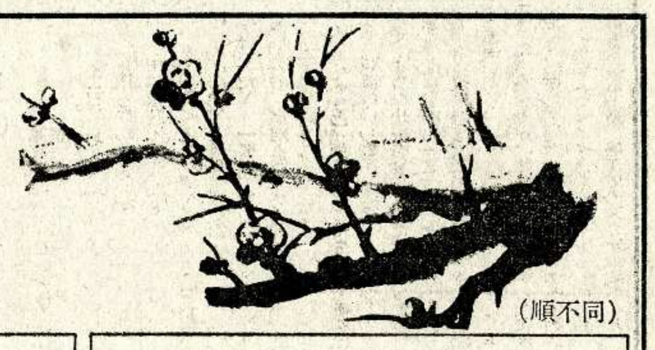
県民だより

制作 静岡県広報課NO.225

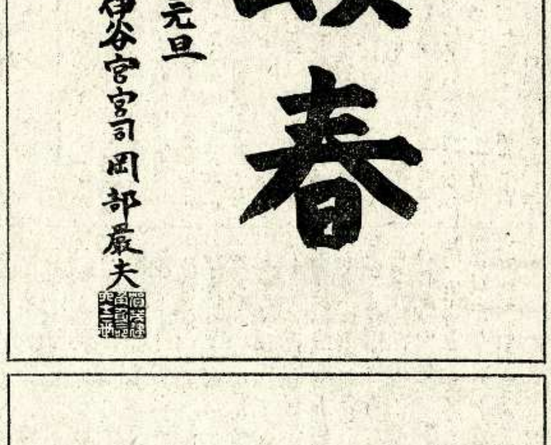
2月号の"県民だより"は2月1日㈫発行の予定です。

昭和52年

筆墨展



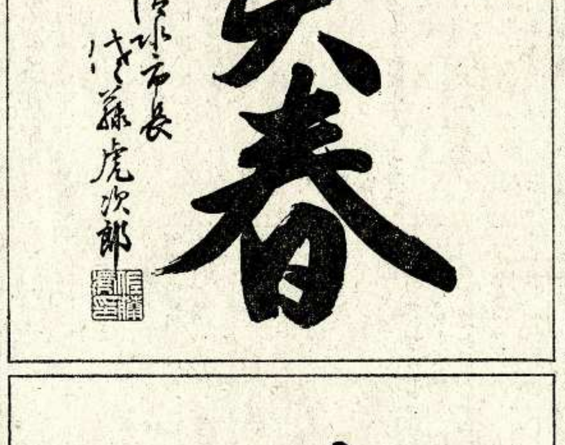
（順不同）



頌春

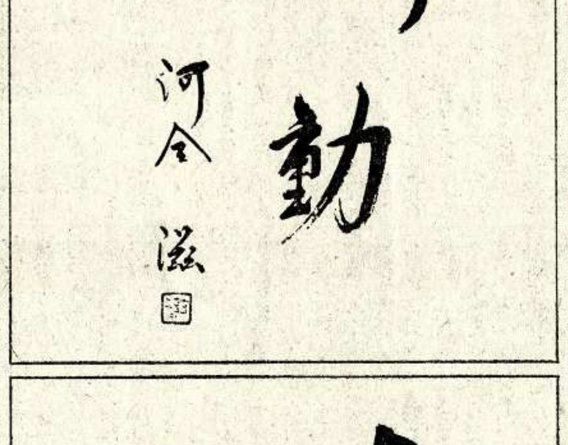
丁巳元旦

井伊谷宮宮司 岡部巖夫



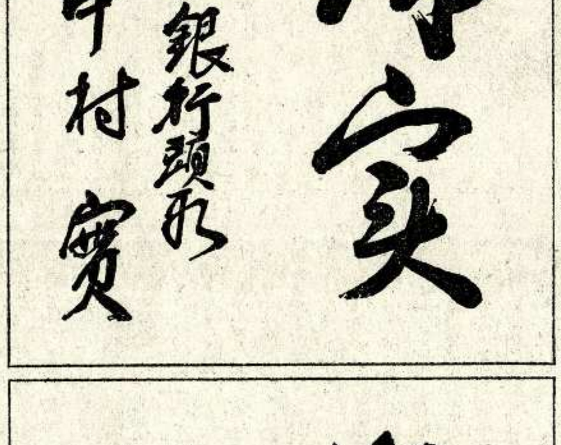
賀春

清水市長 佐藤虎次郎



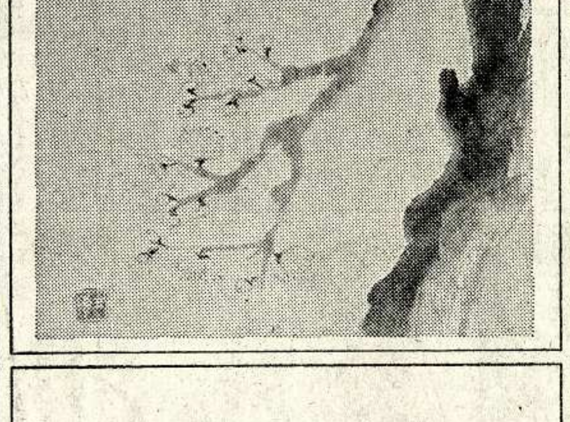
静動

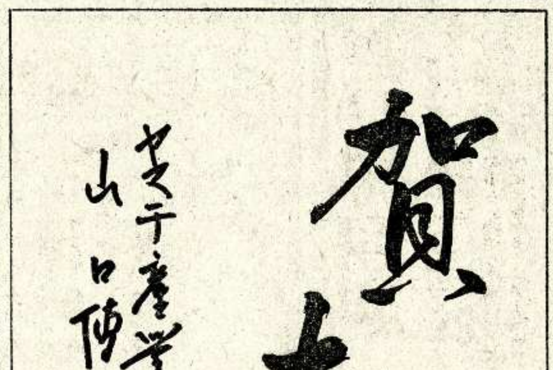
河合滋



誠実

静岡銀行頭取 中村實

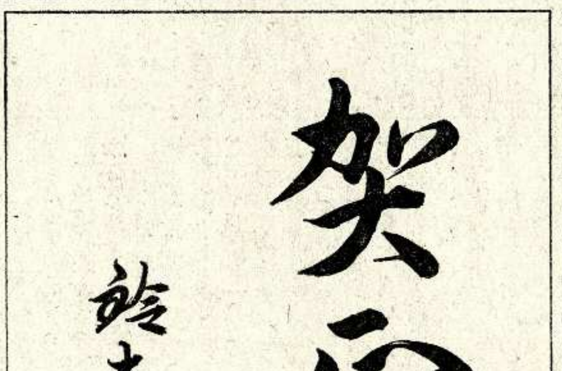




賀春

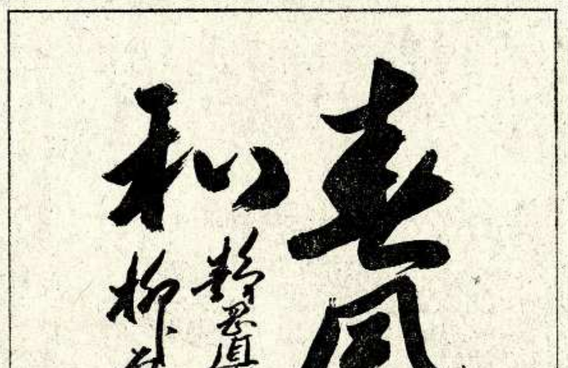
ヤマチ産業K.K.

山口陽司



賀正

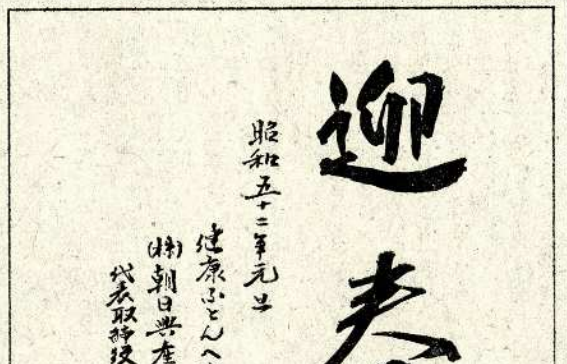
鈴木重夫



春風政和

静岡県議会議長

柳原清治



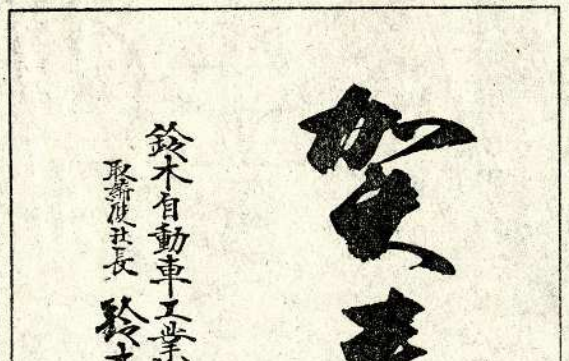
迎春

昭和五十二年元旦

健康ふとんヘルスロール発売元

㈱朝日興産浜松

代表取締役 乙越浩司

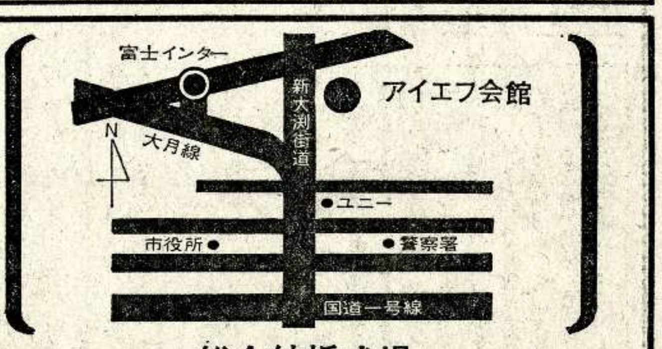


賀春

鈴木自動車工業株式会社

取締役社長 鈴木實治郎

浜名湖
静岡新聞社杯争奪
第3回静岡県選手権大会
本日優勝戦
展示11時
〈交通のご案内〉
◎浜松 10時より14時まで随時
◎静岡 9時40分 ◎島田 9時30分
◎金谷 9時35分 ◎掛川 10時00分
◎袋井 10時10分 ◎見付 10時15分



今春挙式される方にビッグチャンス!!
★10組20名様に旅行券進呈!!
新婚旅行 総額100万円 ご招待セール
●期　間／52年1月23日まで
●資　格／52年春の挙式・披露宴ご予約の方で、新婚旅行を日本旅行へお申込みのカップル
●抽選日／52年1月23日㈰
●協　賛／日本旅行富士営業所
お申し込みは
☎(0545) 53―5666(代)
総合結婚式場
IFアイエフ会館
富士市国久保2丁目11番15